

第12回科学の甲子園全国大会参加報告

◇期 日：2023年3月17日（金）～19日（日）

◇場 所：つくば国際会議場・つくばカピオ（茨城県つくば市）

◇参加者：3年生6名・2年生2名

2年ぶりに全国の代表校が一堂に会して開催された本大会では、全国の科学好きの高校生が4つの競技で科学に関する知識や技術・発想力を競い合いました。

「筆記競技」や「実技競技②」では、化学の問題が英文で出題されたり、顕微鏡を自作して生物を観察するという物理と生物の融合的な課題であったりと、教科・科目の枠を超えた総合的な力が問われ、悪戦苦闘しました。



また、事前公開競技である「おかえりフックン船長 マイコン制御によるサンプルリターンカート」と名付けられた「実技競技③」では、その場でカートを作成して競技に臨む例年のスタイルとは違い、各校から持ち寄ったカートを本番のコースで走らせるという方式で行われました。本番は各校での試作段階と磁気や方位などが異なる過酷な状況でしたが、参加者は試行錯誤しながら思い思いにカートを走らせ、あちこちで懸命に課題に解決に取り組む様子が見られました。

今回、「実技競技②」「実技競技③」では十分な力を出し切れたとは言えませんが、「実技競技①」では6位、「筆記競技」では9位の成果を挙げることができました。

この科学の甲子園への出場を通して得られた経験は、今後最先端の研究や企業における開発といった分野に進む私たちの大きな財産となり、視野を広げるきっかけになると思います。